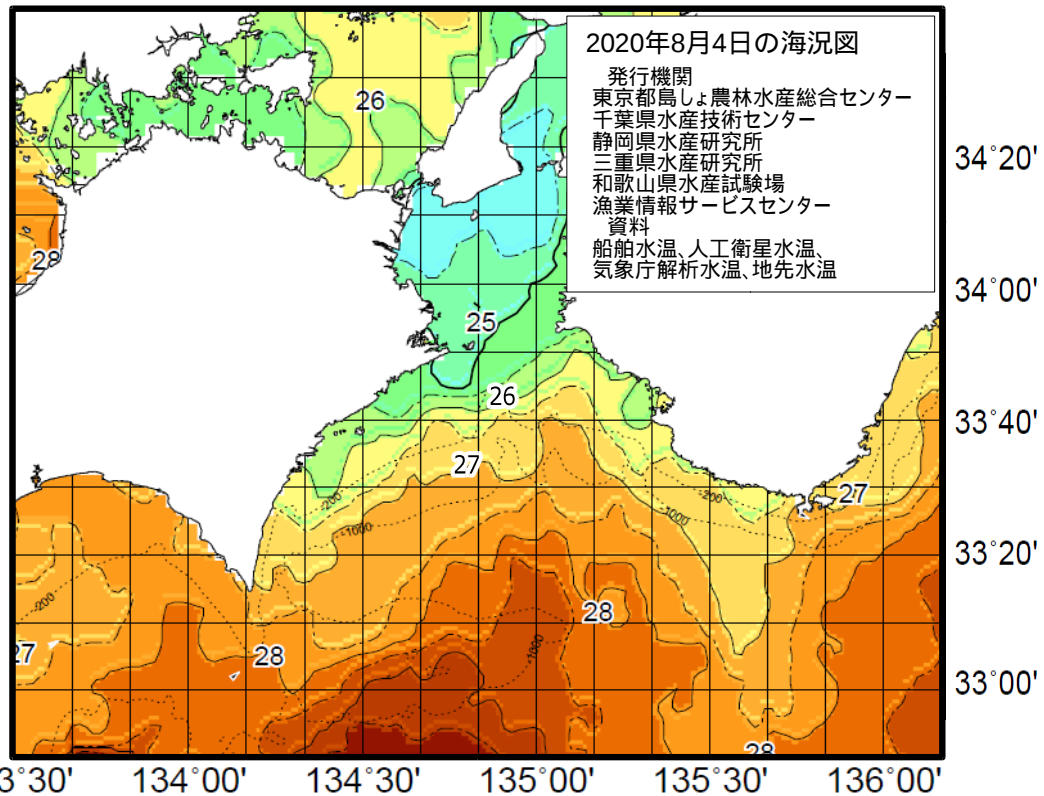


海況

1. 周辺海域の水温等

黒潮大蛇行は、室戸岬沖では「著しく離岸」のち「離岸」、潮岬沖では「著しく離岸」して流れている。黒潮の表面水温は28～29台。

徳島周辺海域の水温は、播磨灘で25～26台、紀伊水道で25台、海部沿岸で25～26台となっている。



黒潮の離接岸の表現

(いずれも正南方向)
 室戸岬沖 接岸：～25NM やや離岸：25～45NM 離岸：45～65NM 著しく離岸：65NM～
 潮岬沖 接岸：～26NM やや離岸：26～56NM 離岸：56～86NM 著しく離岸：86NM～

直近4日分の海況図を「地先水温情報」のページに掲載しています。

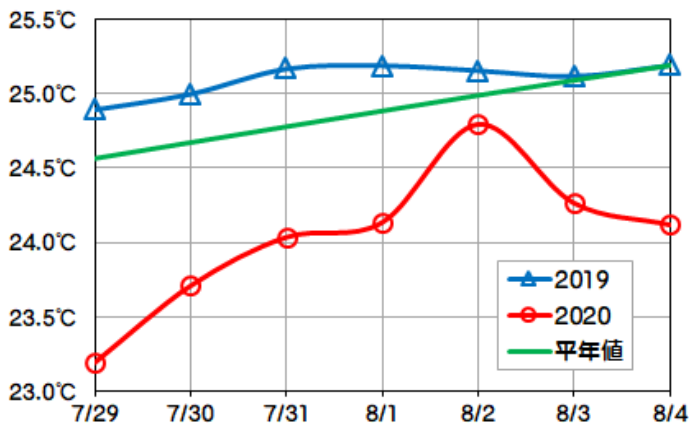
2. 地先水温 (2020年7月29日～8月4日)

鳴門地区の水温は、8月2日に「平年並み」の24.8℃まで上がったものの、そのほかの日は「やや低め」の23.2～24.3℃で推移した。

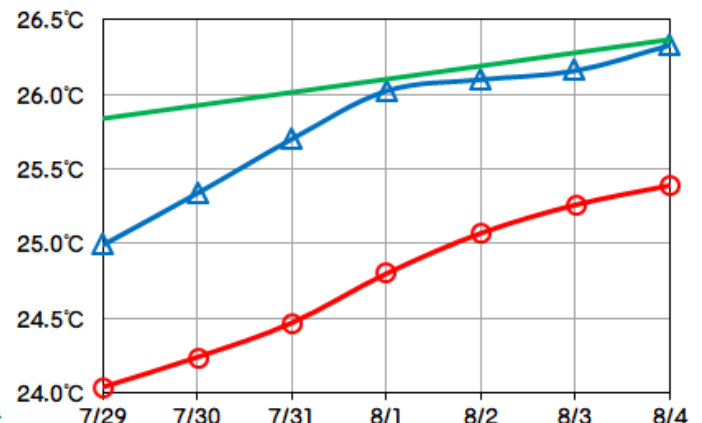
日和佐地区の水温は、「低め」のち「やや低め」の24.0～25.4℃で推移した。

なお、牟岐、浅川両地区の水温も8月2日を除いて平年より低い値で推移しており、4日は「かなり低め」の23台となっている。

鳴門地区



日和佐地区



水温の高低 平年並み：平年値±0.5 未満、やや高め/やや低め：平年値±0.5 以上1.5 未満
 高め/低め：平年値±1.5 以上2.5 未満、かなり高め/かなり低め：±2.5 以上

平年値 1984年～2018年の平滑平均値

3. 週間予報 (8月5日～8月11日)

黒潮は、室戸岬沖は「離岸」～「著しく離岸」、潮岬沖は「著しく離岸」で推移する見込み。

鳴門地区の水温は、「やや低め」のち「平年並み」、日和佐地区の水温は「やや低め」で推移する見込み。

漁況 2020年7月27日～8月2日

1. 紀伊水道（標本漁協：3）

船びき網では、シラスが56.3ト水揚げされた。

釣りでは、イサキが大きく増えて大主体に0.6ト水揚げされた。

延縄では、ハモが増えて9ト、タチウオが大きく増えて特大主体に1ト、サワラが増えて2kg級主体に0.4ト、マサバが大きく増えて大主体に0.1ト水揚げされた。

小型定置網では、イサキが大きく増えて大主体に1.8ト、ブリが大きく減ってはまち級主体に0.6ト、マアジが減って小小主体に0.2ト、マダイが減って0.1ト、ハマフエフキが減って大主体に0.1ト水揚げされた。

底びき網では、ハモが大きく増えて中主体に8.4ト、えそ類が増えて0.4ト、マダイが増えて0.3ト水揚げされた。

2. 海部沿岸（標本漁協：4）

釣りでは、イサキが減って0.1ト水揚げされた。

延縄では、キダイが増えて大主体に0.6ト、アカムツが0.4ト水揚げされた。

小型定置網では、マイワシが大きく増えて1.1ト、マアジが増えて小小主体に0.9ト、ウルメイワシが大きく減って0.8ト、カンパチが0.3ト、小型のいか類が大きく増えて0.2ト、さば類が小小主体に0.1ト、かます類が増えて0.1ト水揚げされた。

漁獲量集計表（漁獲量が0.1トン以上のものを抜粋）

海区	漁業種類	出漁隻数 (のべ)	魚種	漁獲量 (kg)		銘柄	前週比※
				漁獲量	1日1隻あたり 平均漁獲量		
紀伊水道	船びき網	100	シラス	56,250	563		→
	釣り	26	イサキ	619	24	大主体	↗
	延縄	74	ハモ	9,003	122		↗
			タチウオ	1,041	19	特大主体	↗
			サワラ	400	13	2kg級主体	↗
			マサバ	108	5	大主体	↗
			マアジ	195	8	小小主体	↘
	小型定置網	23	イサキ	1,818	79	大主体	↗
			ブリ	631	30	はまち級主体	↘
			マアジ	195	8	小小主体	↘
			マダイ	116	5		↘
			ハマフエフキ	107	13	大主体	↘
	底びき網	54	ハモ	8,377	155	中主体	↗
えそ類			422	10		↗	
マダイ			339	10		↗	
海部沿岸	釣り	13	イサキ	107	8		↘
	延縄	26	キダイ	625	24	大主体	↗
			アカムツ	450	10		→
	小型定置網	13	マイワシ	1,135	87		↗
			マアジ	904	19	小小主体	↗
			ウルメイワシ	843	38		↘
			カンパチ	336	19		→
			小型のいか類	173	9		↗
			さば類	133	10	小小主体	→
かます類			122	8		↗	

前週比 200%以上: 120-200%: 80-120%: 50-80%: 50%未満: